



2024年5月8日

各位

上場会社名 三菱重工業株式会社
代表者 取締役社長 泉澤 清次
(コード番号 7011 上場取引所 東名札福)
問合せ先責任者 財務企画総括部長 西尾 浩
(TEL 03-6275-6200)

当社子会社(三菱ロジスネクスト株式会社)の個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社の子会社である三菱ロジスネクスト株式会社の2024年3月期個別業績につきまして、以下のとおり、前期実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

- ・ 2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)及び
2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の個別業績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	174,470	6.2	612	△73.7	1,335	14.3
2023年3月期	164,231	5.1	2,328	—	1,168	—

(添付)

- ・三菱ロジスネクスト株式会社の開示資料

以上

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月8日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東
コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間野 裕一
問合せ先責任者 (役職名) 財務本部財務部長 (氏名) 望月 宏樹 TEL 075-951-7171
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	701,770	14.0	42,603	189.6	37,479	221.8	27,520	298.0
2023年3月期	615,421	32.2	14,709	309.4	11,646	259.4	6,913	864.0

（注）包括利益 2024年3月期 42,348百万円（222.9%） 2023年3月期 13,114百万円（47.7%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	258.06	257.29	28.6	7.4	6.1
2023年3月期	64.82	64.61	10.0	2.6	2.4

（参考）持分法投資損益 2024年3月期 23百万円 2023年3月期 84百万円

のれん等償却前営業利益 2024年3月期 52,876百万円（111.5%） 2023年3月期 24,995百万円（92.1%）

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	531,495	117,333	22.0	1,094.53
2023年3月期	475,432	76,027	15.9	707.19

（参考）自己資本 2024年3月期 116,740百万円 2023年3月期 75,455百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	64,563	△56,828	△1,978	20,166
2023年3月期	28,743	△40,233	11,729	13,245

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	—	—	9.00	9.00	960	13.9	1.4
2025年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00	2,133	7.8	2.2
	—	—	—	24.00	24.00		8.8	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	680,000	△3.1	38,000	△10.8	33,000	△12.0	29,000	5.4	271.94

（参考）のれん等償却前営業利益 48,000百万円（△9.2%）

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社、除外 一社（社名）三菱ロジスネクスト アメリカス（マレンゴ）社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	106,739,013株	2023年3月期	106,705,013株
② 期末自己株式数	2024年3月期	81,275株	2023年3月期	7,216株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	106,643,031株	2023年3月期	106,657,566株

(参考) 個別業績の概要
2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	174,470	6.2	1,400	—	612	△73.7	1,335	14.3
2023年3月期	164,231	5.1	△2,409	—	2,328	—	1,168	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	12.52	12.49
2023年3月期	10.96	10.92

(参考) のれん等償却前営業利益 2024年3月期 5,879百万円(184.1%) 2023年3月期 2,069百万円(△28.9%)
当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	226,963		54,091		23.7	504.74		
2023年3月期	234,784		53,525		22.7	499.04		

(参考) 自己資本 2024年3月期 53,835百万円 2023年3月期 53,247百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
参考情報	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、デフインフレが進行する中で緩やかな回復が続いています。しかしながら、不動産不況の継続もあって中国の経済成長は停滞しており、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエルとハマスの軍事衝突など地政学上のリスクもあり、地域ごとにその状況は異なっています。一方、我が国経済は、経済社会活動の正常化が進んだ一年となりました。長引く円安に起因する物価の上昇はあるものの、設備投資・個人消費とともに底堅く推移しています。

このような中、フォークリフトを始めとする物流機器市場は、国内においては、コロナ禍前と同様の水準で引き続き堅調に推移しています。海外においては、米州ではコロナ禍後の一時的な特需が平準化して弱含みに推移してきたのち回復傾向を見せ始めており、インフレ圧力が緩和する中、景気回復には至っていない欧州においても、物流機器需要は年度後半にかけては回復しつつあります。一方、アジアではコロナ禍後の特需が収まってきた中でも堅調に推移しており、不動産不況の継続により景気が停滞する中国においても、物流機器需要においては回復傾向が見られます。また、電気車化トレンドの中で、中国製リチウムバッテリー車の参入により、地域による濃淡はあるものの各地で競争激化の傾向が見られるようになりました。

当社においては、大きな課題であったリードタイムの長期化は生産整流化による短縮が進み、米国においては未だ納期が長めになっているものの、その他の地域においてはほぼ適正水準となっています。ただし、サプライチェーンの安定化にはまだ不安を残しており、引き続き安定した調達、輸送の確保に取り組んでいく必要があります。世界経済は緩やかながらも回復を続けていますが、中国経済の不振、金利や為替の動向、ウクライナ侵攻や中東情勢の悪化などにより、不確実性を増す世界経済の先行きは不透明で予断を許さない状況にあります。

このような状況のもと当連結会計年度における売上高は、7,017億7千万円（前年同期比14.0%増加）となりました。

利益面では、生産整流化により米州を中心に前年度を大きく上回る出荷を実現し、これに伴い価格適正化の効果が寄与し売上高が増加したことで、営業利益は426億3百万円（同189.6%増加）、経常利益は374億7千9百万円（同221.8%増加）となり、評価性引当額の取崩し等による税金費用の減少も加わって、親会社株主に帰属する当期純利益は275億2千万円（同298.0%増加）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、営業利益は528億7千6百万円（同111.5%増加）となり、営業利益率は7.5%（同3.5ポイント増）となっております。

この結果、売上高並びに営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、のれん等償却前営業利益はいずれも過去最高となり、2022年3月期から2024年3月期までの中期経営計画「Logisnext SolutionS 2023」における目標値（売上高5,000億円、のれん等償却前営業利益300億円、同利益率6%、自己資本比率20%以上）もすべて超過達成となりました。

(単位：億円)	2023年3月期	2024年3月期	増減	
			(億円)	(率)
売上高	6,154.2	7,017.7	863.4	14.0%
のれん等償却前営業利益	249.9	528.7	278.8	111.5%
(率)	4.1%	7.5%		
営業利益	147.0	426.0	278.9	189.6%
(率)	2.4%	6.1%		
経常利益	116.4	374.7	258.3	221.8%
(率)	1.9%	5.3%		
親会社株主に帰属する当期純利益	69.1	275.2	206.0	298.0%
(率)	1.1%	3.9%		

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

〔国内事業〕

国内事業は、受注が堅調に推移する中、部品欠品が解消傾向に向かい、また、価格適正化の効果も寄与し始め、売上高は1,904億4千1百万円（前年同期比8.0%増加）となりました。セグメント利益は、依然としてコスト高の状況は解消されないながらも、売上高の増加に加えて輸出事業における海上輸送運賃の高騰沈静化並びに為替の円安影響も寄与し、50億6千2百万円（同891.5%増加）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は99億3百万円（同85.4%増加）となっております。

国内事業 (単位：億円)	2023年3月期	2024年3月期	増減	
			(億円)	(率)
売上高	1,763.2	1,904.4	141.1	8.0%
のれん等償却前営業利益 (率)	53.4 3.0%	99.0 5.2%	45.6	85.4%
営業利益 (率)	5.1 0.3%	50.6 2.7%	45.5	891.5%

〔海外事業〕

海外事業は、米州での販売台数増加に伴って価格適正化の効果が拡大し、また、為替の円安影響に伴う換算額の増加もあり、売上高は5,113億2千9百万円（前年同期比16.5%増加）となりました。セグメント利益は、売上高の増加が大きく寄与し、375億4千1百万円（同164.4%増加）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は429億7千2百万円（同118.6%増加）となっております。

特に海外事業の前年同期は、その前半においては価格適正化がコロナ禍以降のインフレ下におけるコスト高をカバーできていない状況でしたが、それ以降徐々に部品欠品が解消されていくことで生産を拡大、出荷を促進し、海外事業の売上高並びにセグメント利益を大きく増加させています。

海外事業 (単位：億円)	2023年3月期	2024年3月期	増減	
			(億円)	(率)
売上高	4,390.9	5,113.2	722.3	16.5%
のれん等償却前営業利益 (率)	196.5 4.5%	429.7 8.4%	233.1	118.6%
営業利益 (率)	141.9 3.2%	375.4 7.3%	233.4	164.4%

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は5,314億9千5百万円となり、主に円安影響に伴う換算額の増加により、前連結会計年度末より560億6千2百万円の増加となりました。流動資産は、棚卸資産等が増加した結果、262億9千4百万円増加し、固定資産は、機械装置及び運搬具等が増加した結果、297億6千8百万円増加しました。

負債合計は4,141億6千2百万円となり、主に為替の円安影響に伴う換算額の増加により、前連結会計年度末より147億5千6百万円の増加となりました。

また、純資産につきましては、新株予約権及び非支配株主持分を除くと、1,167億4千万円となり、前連結会計年度末より412億8千4百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の獲得による利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は22.0%（前連結会計年度末は15.9%）、1株当たり純資産額は1,094円53銭（前連結会計年度末は707円19銭）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ69億2千1百万円増加し、201億6千6百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、前連結会計年度287億4千3百万円に比べ、358億2千万円増加し、645億6千3百万円（前年同期比124.6%増加）となりました。主たる要因は、税金等調整前当期純利益、減価償却計上額の増加です。また、仕入債務の支払額の増加等があった一方で、売上債権の回収や棚卸資産の増加額の減少等もあったことも寄与しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、前連結会計年度402億3千3百万円に比べ、165億9千5百万円増加し、568億2千8百万円（前年同期比41.2%増加）となりました。有形固定資産の取得による支出や短期貸付金の増加による資金の支出があったため、当連結累計期間の支出は増加しました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、前連結会計年度117億2千9百万円に比べ、137億8百万円減少し、19億7千8百万円（前年同期比116.9%減少）となりました。これは主に、短期借入金の返済によるものです。

(4) 今後の見通し

世界経済は、デフインフレが進行する中で緩やかな回復が続いていますが、停滞する中国経済や欧州・中東における地政学的リスクなどもあり不確実性が増す中、先行きは不透明で予断を許さない状況にあります。

しかしながら、フォークリフトを始めとする物流機器市場は、国内においてはコロナ禍前と同様の水準で引き続き堅調に推移しており、海外においても堅調な地域によっては回復が見られつつある状況です。

このような状況のもと、当社の次期3ヶ年の中期経営計画「Logisnext Transform 2026（以下、LT26）」の初年度にあたる翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績につきましては、売上高6,800億円、営業利益380億円、経常利益330億円、親会社株主に帰属する当期純利益290億円を見込んでおります。

なお、その場合ののれん等償却前営業利益は480億円、同利益率は7.1%となります。また、翌連結会計年度末における自己資本比率は25%、資本コストを意識した経営の実現に向けLT26で新たに目標として設定した自己資本利益率は20%以上を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、各期の収益状況に対応し、株主各位への配当の充実と企業基盤確立のための内部留保とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本としております。

以上の方針に則り、当期の剰余金の配当につきましては、期末配当金を1株当たり20円、次期の配当金につきましては、「(4) 今後の見通し」に記載の連結業績予想を踏まえ、1株当たり24円とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,245	20,166
受取手形、売掛金及び契約資産	101,148	100,196
電子記録債権	2,507	2,605
リース債権及びリース投資資産	13,443	14,032
商品及び製品	62,840	76,935
仕掛品	14,805	13,587
原材料及び貯蔵品	30,646	35,027
短期貸付金	12,744	18,425
その他	14,561	11,726
貸倒引当金	△1,383	△1,847
流動資産合計	264,561	290,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,894	60,246
減価償却累計額	△35,090	△37,483
建物及び構築物 (純額)	21,803	22,762
機械装置及び運搬具	172,861	207,563
減価償却累計額	△100,176	△109,705
機械装置及び運搬具 (純額)	72,685	97,858
工具、器具及び備品	21,383	21,160
減価償却累計額	△19,021	△18,495
工具、器具及び備品 (純額)	2,361	2,665
土地	22,133	21,675
リース資産	33,733	35,409
減価償却累計額	△5,975	△7,940
リース資産 (純額)	27,758	27,468
建設仮勘定	2,189	6,724
有形固定資産合計	148,933	179,155
無形固定資産		
のれん	25,473	19,401
その他	15,664	14,415
無形固定資産合計	41,137	33,816
投資その他の資産		
投資有価証券	7,152	7,961
退職給付に係る資産	814	1,197
繰延税金資産	9,415	14,241
その他	3,467	4,314
貸倒引当金	△50	△47
投資その他の資産合計	20,800	27,667
固定資産合計	210,871	240,639
資産合計	475,432	531,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,240	78,894
電子記録債務	15	—
短期借入金	47,344	42,766
1年内返済予定の長期借入金	4,000	4,000
リース債務	7,199	7,811
未払金	9,122	10,886
未払費用	22,209	27,317
未払法人税等	3,313	2,901
賞与引当金	4,798	6,401
役員賞与引当金	94	102
製品保証引当金	4,215	4,272
関係会社整理損失引当金	75	75
設備関係支払手形	10	—
その他有利子負債	3,979	7,709
その他	16,089	20,233
流動負債合計	208,709	213,374
固定負債		
長期借入金	124,281	118,402
リース債務	20,332	19,615
繰延税金負債	3,210	3,778
製品保証引当金	2,561	405
役員退職慰労引当金	7	5
退職給付に係る負債	16,263	16,484
その他有利子負債	22,536	40,665
その他	1,501	1,429
固定負債合計	190,695	200,787
負債合計	399,405	414,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,938	4,949
資本剰余金	34,775	34,793
利益剰余金	16,704	43,265
自己株式	△2	△92
株主資本合計	56,415	82,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,387	2,705
為替換算調整勘定	17,019	30,977
退職給付に係る調整累計額	△367	141
その他の包括利益累計額合計	19,040	33,824
新株予約権	277	255
非支配株主持分	294	337
純資産合計	76,027	117,333
負債純資産合計	475,432	531,495

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	615,421	701,770
売上原価	477,337	522,047
売上総利益	138,084	179,722
販売費及び一般管理費	123,375	137,119
営業利益	14,709	42,603
営業外収益		
受取利息	795	1,443
受取配当金	202	104
持分法による投資利益	84	23
為替差益	—	137
その他	390	448
営業外収益合計	1,472	2,158
営業外費用		
支払利息	3,873	6,884
為替差損	301	—
その他	361	397
営業外費用合計	4,535	7,281
経常利益	11,646	37,479
特別利益		
固定資産売却益	1,288	437
投資有価証券売却益	53	208
受取保険金	14	—
特別利益合計	1,356	645
特別損失		
固定資産処分損	118	614
減損損失	—	29
投資有価証券売却損	1	0
投資有価証券評価損	12	—
関係会社整理損	408	—
災害による損失	7	—
事業構造改善費用	121	853
新型コロナウイルス関連損失	89	—
特別損失合計	758	1,497
税金等調整前当期純利益	12,243	36,627
法人税、住民税及び事業税	7,737	13,482
法人税等調整額	△2,365	△4,404
法人税等合計	5,372	9,077
当期純利益	6,871	27,549
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△42	29
親会社株主に帰属する当期純利益	6,913	27,520

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	6,871	27,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	313
為替換算調整勘定	6,493	13,980
退職給付に係る調整額	△255	508
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△3
その他の包括利益合計	6,243	14,799
包括利益	13,114	42,348
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	13,150	42,305
非支配株主に係る包括利益	△36	43

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,924	34,762	10,644	△2	50,328
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	13	13			26
剰余金の配当			△853		△853
親会社株主に帰属する当期純利益			6,913		6,913
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	13	13	6,060	—	6,087
当期末残高	4,938	34,775	16,704	△2	56,415

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,380	10,533	△111	12,803	273	333	63,737
当期変動額							
新株の発行 (新株予約権の行使)							26
剰余金の配当							△853
親会社株主に帰属する当期純利益							6,913
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	6	6,486	△255	6,237	4	△39	6,202
当期変動額合計	6	6,486	△255	6,237	4	△39	12,289
当期末残高	2,387	17,019	△367	19,040	277	294	76,027

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,938	34,775	16,704	△2	56,415
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	11	11			22
剰余金の配当			△960		△960
親会社株主に帰属する当期純利益			27,520		27,520
自己株式の取得				△199	△199
譲渡制限付株式報酬		7		110	117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	11	18	26,560	△89	26,500
当期末残高	4,949	34,793	43,265	△92	82,915

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,387	17,019	△367	19,040	277	294	76,027
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)							22
剰余金の配当							△960
親会社株主に帰属する当期純利益							27,520
自己株式の取得							△199
譲渡制限付株式報酬							117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	317	13,957	508	14,784	△22	43	14,805
当期変動額合計	317	13,957	508	14,784	△22	43	41,306
当期末残高	2,705	30,977	141	33,824	255	337	117,333

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,243	36,627
減価償却費	25,844	29,549
減損損失	—	29
のれん償却額	7,727	7,665
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	328
賞与引当金の増減額 (△は減少)	449	1,601
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,126	△2,647
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	347	330
受取利息及び受取配当金	△998	△1,547
支払利息	3,873	6,884
持分法による投資損益 (△は益)	△84	△23
投資有価証券売却損益 (△は益)	△51	△208
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,741	9,262
リース投資資産の増減額 (△は増加)	1,126	638
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,792	1,828
仕入債務の増減額 (△は減少)	762	△15,295
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,695	3,976
その他	3,352	5,398
小計	39,092	84,398
利息及び配当金の受取額	1,003	1,503
利息の支払額	△3,738	△6,895
法人税等の支払額	△7,614	△14,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,743	64,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,868	△53,127
有形固定資産の売却による収入	1,370	1,385
無形固定資産の取得による支出	△830	△1,041
投資有価証券の取得による支出	△33	△33
投資有価証券の売却による収入	185	369
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,939	—
関係会社株式の取得による支出	—	△433
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	7,965	△3,991
長期貸付けによる支出	△11	—
長期貸付金の回収による収入	11	—
その他	△83	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,233	△56,828
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,744	△6,989
長期借入れによる収入	1,611	4,357
長期借入金の返済による支出	△11,681	△14,228
その他の金融取引に係る収入	25,025	26,925
その他の金融取引に係る支出	△3,409	△9,195
リース債務の返済による支出	△1,704	△1,691
自己株式の取得による支出	—	△199
配当金の支払額	△853	△960
非支配株主への配当金の支払額	△2	—
その他	0	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,729	△1,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	443	1,164
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	683	6,921
現金及び現金同等物の期首残高	12,562	13,245
現金及び現金同等物の期末残高	13,245	20,166

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、在外子会社のリース事業に係る取引を金融取引として会計処理した負債について、「流動負債」の「その他」および「固定負債」の「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より「その他有利子負債」として独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた3,979百万円は「流動負債」の「その他有利子負債」として、「固定負債」の「その他」に表示していた22,536百万円は「固定負債」の「その他有利子負債」として組み替えております。

前連結会計年度において、「流動負債」の「その他」に含めて表示しておりました「未払費用」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた22,209百万円は、「未払費用」として組み替えております。

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「固定負債」の「長期預り金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「固定負債」の「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」の「長期預り金」に表示していた5百万円は、「その他」として組み替えております。

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「補助金収入」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めることといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「補助金収入」に表示していた28百万円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、国内営業部門・海外営業部門それぞれに製品・サービスを展開し、生産部門あるいは技術部門と連携して、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社は、製品・サービス別及び国内・海外別のセグメントから構成されており、「国内事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。

「国内事業」は、主にフォークリフトを中心とした物流機器及び保守部品の生産・販売を国内で行っている事業であり、これらに付随する関連商品及び保守部品の販売も含まれます。「海外事業」は、主にフォークリフトを中心とした物流機器及び保守部品の生産・販売を海外で行っている事業であり、これらに付随する関連商品及び保守部品の販売も含まれます。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用される会計方針に準拠した方法です。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	176,325	439,095	615,421	—	615,421
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	55,240	1,999	57,239	△57,239	—
計	231,565	441,095	672,661	△57,239	615,421
セグメント利益	510	14,199	14,709	—	14,709
セグメント資産	149,386	326,045	475,432	—	475,432
その他の項目					
減価償却費	10,798	15,046	25,844	—	25,844
のれん償却額	4,000	3,726	7,727	—	7,727
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	9,547	62,371	71,918	—	71,918

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額となっております。

2. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. セグメント利益と当社が経営上の重要な指標として用いているのれん等償却前営業利益との差額は、企業結合日において受け入れた識別可能資産（評価差額）に係る減価償却費及びのれん償却額です。

	国内事業	海外事業	計
セグメント利益	510	14,199	14,709
のれん償却額	4,000	3,726	7,727
評価差額償却費	830	1,728	2,558
のれん等償却前 営業利益	5,341	19,653	24,995

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	190,441	511,329	701,770	—	701,770
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	55,761	1,908	57,669	△57,669	—
計	246,202	513,237	759,440	△57,669	701,770
セグメント利益	5,062	37,541	42,603	—	42,603
セグメント資産	150,273	381,222	531,495	—	531,495
その他の項目					
減価償却費	11,102	18,447	29,549	—	29,549
のれん償却額	4,000	3,664	7,665	—	7,665
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	12,233	41,464	53,698	—	53,698

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額となっております。
2. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. セグメント利益と当社が経営上の重要な指標として用いているのれん等償却前営業利益との差額は、企業結合日において受け入れた識別可能資産（評価差額）に係る減価償却費及びのれん償却額です。

	国内事業	海外事業	計
セグメント利益	5,062	37,541	42,603
のれん償却額	4,000	3,664	7,665
評価差額償却費	841	1,766	2,607
のれん等償却前 営業利益	9,903	42,972	52,876

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	707.19円	1,094.53円
1株当たり当期純利益	64.82円	258.06円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	64.61円	257.29円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6,913	27,520
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6,913	27,520
普通株式の期中平均株式数(千株)	106,657	106,643
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	354	320
(うち新株予約権(千株))	(354)	(320)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

参考情報：2024年3月期 決算<連結>

1. 決算ハイライト

(単位：億円)

	2023年3月期					2024年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	1,352.9	1,442.9	1,613.6	1,744.6	6,154.2	1,661.2	1,776.4	1,771.8	1,808.1	7,017.7
のれん等償却前営業利益 (営業利益率)	10.8 0.8%	51.2 3.6%	90.3 5.6%	97.4 5.6%	249.9 4.1%	128.2 7.7%	149.8 8.4%	158.2 8.9%	92.3 5.1%	528.7 7.5%
のれん等償却	△ 26.8	△ 25.6	△ 25.7	△ 24.6	△ 102.8	△ 25.0	△ 25.6	△ 25.9	△ 26.0	△ 102.7
営業利益 (営業利益率)	△ 15.9 △ 1.2%	25.6 1.8%	64.6 4.0%	72.7 4.2%	147.0 2.4%	103.2 6.2%	124.1 7.0%	132.3 7.5%	66.3 3.7%	426.0 6.1%
経常利益 (経常利益率)	△ 14.7 △ 1.1%	23.8 1.6%	51.5 3.2%	55.7 3.2%	116.4 1.9%	96.2 5.8%	114.3 6.4%	117.8 6.7%	46.3 2.6%	374.7 5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	△ 15.3 △ 1.1%	1.1 0.1%	41.8 2.6%	41.5 2.4%	69.1 1.1%	66.0 4.0%	99.5 5.6%	80.2 4.5%	29.3 1.6%	275.2 3.9%

為替レート

(単位：円)

USD	129.57	133.97	136.51	135.47	137.37	141.00	143.29	144.62
EUR	138.12	138.73	140.59	140.97	149.47	153.39	155.29	156.80

2. セグメント情報

(単位：億円)

		2023年3月期					2024年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	国内事業	390.1	413.1	467.9	492.0	1,763.2	447.0	481.8	486.3	489.1	1,904.4
	海外事業	962.8	1,029.8	1,145.6	1,252.5	4,390.9	1,214.2	1,294.5	1,285.4	1,318.9	5,113.2
営業利益	国内事業	2.8	6.2	24.3	19.8	53.4	29.7	25.8	38.6	4.8	99.0
	海外事業	7.9	45.0	66.0	77.5	196.5	98.5	124.0	119.6	87.5	429.7

※営業利益はのれん等償却前営業利益

地域別売上高

(単位：億円)

地域	2023年3月期					2024年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
日本	390.1	413.1	467.9	492.0	1,763.2	447.0	481.8	486.3	489.1	1,904.4
米州	616.4	691.9	784.3	868.0	2,960.7	866.9	944.0	934.4	953.3	3,698.6
欧州	253.4	233.5	264.0	282.9	1,033.9	256.9	252.5	262.0	281.0	1,052.6
アジア・中国	92.9	104.4	97.2	101.6	396.2	90.3	98.0	88.9	84.6	361.9
計	1,352.9	1,442.9	1,613.6	1,744.6	6,154.2	1,661.2	1,776.4	1,771.8	1,808.1	7,017.7

3. フォークリフト販売台数

(単位：千台)

	2023年3月期					2024年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
国内	6	6	7	7	26	7	7	7	7	28
海外	21	19	22	25	86	21	21	20	20	82
合計	27	25	29	31	112	28	29	27	27	110